

京都府の仕事について

所属 山城広域振興局 農林商工部
山城北農業改良普及センター

なりくり しょうた
技師 成栗 祥太

自己紹介

なりくり しょうた
▪ 氏名 成栗 祥太

成栗・・・全国苗字ランキング 53,871位
全国でおおよそ30人 岐阜県に多い
(引用元: 苗字由来ネット)

▪ 出身 岐阜県郡上市
京都は小学校の修学旅行で来ただけ

▪ 平成3年12月19日生まれ 28歳
反町隆史↑とフットボールアワー岩尾↓と同じ誕生日

▪ 趣味: 釣り、園芸

採用されてからの職歴

今年度で9年目

H24年3月 専修学校卒(岐阜県立国際園芸アカデミー)

H24年4月 京都府入庁

H24～28年度 文化・スポーツ部 植物園 技術課 企画係

H29～ 現在 山城広域振興局 農林商工部
山城北農業改良普及センター 産地づくり係

どんな仕事をしてきたか

<1ヶ所目> 植物園 技術課



- 栽培管理業務・・・植物園内の植物の個体管理
(園で12,000種以上を管理、担当1人で約1,000種管理)
- イベント運営業務・・・各展示会の運営、園内ガイド等

どんな仕事をしてきたか

<1ヶ所目> 植物園 技術課

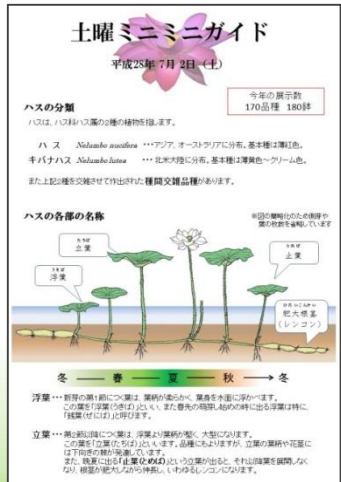
植物園に求められる役割

園内の植物を通して、府民に生物の多様性や園芸文化に対する見識を深めてもらうこと



役割の遂行のために必要な事

花を観て楽しむだけでなく、見識を深める
きっかけをつくる
植物の良さを多くの人に伝える



自分の持ち味を生かす

絵を描くことが好き + 植物が好き

ガイド資料に挿絵を添えたり、ポスターのレイアウトを工夫するなど、読む気になれる資料作りを意識した

どんな仕事をしてきたか

<2ヶ所目> 山城北農業改良普及センター



管轄・・・宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町

どんな仕事をしてきたか

● 農業改良普及センターの役割

地域農業振興と農業者の所得向上のために、支援・指導を行う

● 私の担当地は、京田辺市

主産品 ナス、えびいも、茶(玉露)



どんな仕事をしてきたか

● 農家への栽培指導や新技術の普及支援

栽培技術指導・支援



個人や生産部会に対する
技術指導を通して、
収量向上・品質向上を目指す

病虫害防除指導・支援



病虫害の診断、農薬の適正使用や
安全な農作物づくりのサポート

どんな仕事をしてきたか

● 農家への経営改善や販路拡大をサポート

経営改善サポート



農業経営に関して起こる
労務や雇用等の課題に対して
アドバイスや支援を行う

販路拡大支援



各種商談会参加のサポートをし、
農家の販路拡大を支援する

どんな仕事をしてきたか

●異動1～2年目（平成29、30年度）

山城地域は豪雨や台風による大被害を受けた



普及センターでは、農家の1日でも早い復旧を支援する為に、
補助事業の窓口業務と復旧に対する指導・支援を行った

働いてみて感じたこと・分かったこと

- 各種研修など、自分の技術知識を高められる環境に恵まれている
- 自分の得意分野を活かせる機会が多い
- 多くの農家は個人経営で、常に不安を抱えている
多角的視点を持つアドバイザーを求めている
- 自分ならばこうする、といった主観的意見も必要

最後に皆さんに伝えたいこと

自分は勉強が嫌い

→採用試験ではこれまで避けてきた科目の問題と
嫌でも向き合うことになる

自信のある科目は、数をこなそう

自信のない科目は、パターンをつかもう

面接は緊張するもの

→いろいろな人と面接練習して、しゃべり慣れること
日頃から話し慣れた人だけでは練習になりません

ともに仕事ができる日が来ることを

楽しみにしています